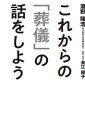


## 令和2年度 同窓生著作等図書リスト

2020/11/17現在

| No | 著者名        | 期  | 著書名                                                                                                                                   | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | QRコード                                                                                 |
|----|------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 濱潟好古       | 52 | 防衛大式 最強のメンタル<br>                                     | 「一人では乗り越えようとしないう」「生き残ることを選び、プライドを捨てる」「不器用」精神が何度でもあなたを復活させる」―最前線で日本を守る人材を育成する防衛大学。そこは1か月で脱落者が多数出るという、日本一過酷な大学。逆境に立たされたとき、心が折れそうになったとき……。ここに乗り越える秘訣があった!                                                                                                                                                                                                                                                                        |    |
| 2  | 濱潟好古       | 52 | 防衛大流 最強のリーダー<br>                                     | 部下を育てるのに、不当な優しさはいらない。だが、絶対に否定するな。「結果」に一喜一憂せず、「成果」にこだわれ。誰1人として無駄にせず、誰1人として見捨てな。小さな部品1つ欠けても、銃は撃つことができないのだ―日本一過激で、合理的な人材錬成6つの力を初公開!!                                                                                                                                                                                                                                                                                             |    |
| 3  | 関口高史       | 32 | 誰が一木支隊を全滅させたのか<br>ガタルカナル戦と大本営の迷走<br>                 | 無謀な作戦の責任を全て一木支隊長に押しつけたのは誰か? 従来の「定説」を覆すノンフィクション。ガタルカナル島奪回作戦(昭和17年)で一木清直大佐率いる約900名は1万人以上の米軍に挑みあえなく全滅した。一木支隊の生還者、一木自身の言葉、長女の回想、軍中央部や司令部参謀などの証言をはじめ、公刊戦史、回想録、未刊行資料などを読み解き、作戦の実相を明らかにする。                                                                                                                                                                                                                                           |    |
| 4  | 佐々木孝博      | 30 | 現代戦争論 超「超限戦」<br>- これが21世紀の戦いだ<br>                    | 渡部悦和(著)、佐々木孝博(著)<br>新書として復刻され注目を集めた『超限戦』。人民解放軍の現役大佐(当時)による、目的のためには手段を択ばない「なんでもあり」の戦争論は世界に衝撃を与えた。元陸上自衛隊陸将、元海上自衛隊海将補の二人の著者が、この「超限戦」へのアンチテーゼとして、「超限戦」を超えた21世紀の新たな戦い、現代戦の様相と考え方、そして「超限戦」に対抗するために日本が進むべき道を提言する。                                                                                                                                                                                                                    |    |
| 5  | 上田 篤盛      | 28 | 未来予測入門 元防衛省情報分析官が<br>編み出した技法<br>                    | 「仕事ができる人、少し先を読むことができる人は、知らず知らずのうちに、未来予測のテクニックの一部を使って、思考・分析を繰り返しているのである」自分の周辺の未来、自分が予測する業界の今後を可能なかぎり正確に予測する技術――。世界の情報機関がごく普通に使っている思考法・分析手法を駆使することで、「未来予測」はぐっと身近なものになる!                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 6  | 市川文一       | 27 | 猫でもわかる防衛論<br>                                      | 政治的話になる以前の防衛軍事の常識を全編を通じて獲得できる。軍事や防衛を考えるために必要なものは、巷で騒がれている枝葉部分ではなく、地味だが大事な幹の部分にある。本書は、「防衛軍事の幹」を実にわかりやすく解説する。分かりやすさと正確さ、信頼性の三者が高いレベルで融合しているという点で類書はない。ゲーム感覚で理解できる防衛論、「ヒゲの隊長」佐藤まさひさ議員も絶賛                                                                                                                                                                                                                                         |  |
| 7  | 小川清史<br>ほか | 26 | 近未来戦を決する「マルチドメイン<br>作戦」：日本は中国の軍事的挑戦を<br>打破できるか<br> | 小川清史(著)、富田 稔(著)、樋口謙次(著)、用田和仁(著)<br>いま、世界の軍事フィールドでは、歴史的な変化が起きている。「マルチドメイン作戦」という作戦戦略上の新たな動きであり、近未来戦のあり方を劇的に変化させ、軍事史における「変革の時代」の幕開けを告げようとしている。すでにロシアは、ウクライナ、シリアで本作戦を試し、中国は「情報化戦争」の呼称で、平時からの戦いとして本作戦を展開している。この動きに乗り遅れた米国、さらにその後塵を拝する日本は、キャッチアップに必死だ。そのため、日本は、2018年策定の防衛計画の大綱(30大綱)で、「多次元統合防衛力」構想の中心的テーマとして「領域横断(クロスドメイン)作戦」を打ち出した。本書は、今後の日本の安全保障・防衛の行方を決定的に左右するマルチドメイン作戦を分かり易く解説し、日本の課題や問題点を国民と共に考えるための情報を提供するものであり、国民必読の警世の書である。 |  |
| 8  | 瀧野隆浩       | 26 | これからの「葬儀」の話をしよう<br>                                | かつてのお葬式は、地域コミュニティ、もしくは会社がやってくれるものだった。いまではすべてが自己責任。そうになると、少しでもお金がかからないことが求められる。その結果、人間の命の尊厳まで、デフレ化してしまった。生と死を見つめる防大卒記者と、世界45カ国の墓地を旅した「お墓博士」による異色づくめの「終活2.0」ガイドブック!                                                                                                                                                                                                                                                             |  |
| 9  | 下園 壮太      | 26 | 令和時代の子育て戦略<br>                                     | いま、子育て真っ最中の方が当たり前に願いがちな・好き嫌いのない子になってほしい・しっかりしたしつけや我慢は必須・子どもを不登校児には絶対にさせたくないなどの考えは、じつは大変危険な子育てになっている可能性があります。<br>令和時代はAIの台頭で、「得られる知識や情報は膨大になる」「職業、仕事が減っていく」「語学をはじめとした学力も必要なくなる」「心の苦しみ苦痛は広がる」などが予測されています。今の子どもたちが大人になる頃、常識はガラリと変わってしまうのです。<br>「9月1日問題」など、子どもの不登校や自殺はすでに増えてきている昨今、心については年々問題が大きくなりつつあります。小学生ですでにうつ状態の子も増えています。そういった令和の時代に大人になっていく子どもたちに一番大切なのは、心の強さです。<br>わが子を「幸せな子ども」「強く生き抜ける子ども」にするにはどうすればいいのか。具体的に指南します。      |  |

|    |                 |    |                                               |                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                       |
|----|-----------------|----|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 10 | 下園 壮太           | 26 | 寛容力のコツ：ささいなことで怒らない、ちょっとしたことで傷つかない             | <br>¥693     | ◎「疲労」が最も人を不寛容にさせる。◎「性善説」で生きるほうが疲れない。など ささいなことで怒らない、ちょっとしたことで傷つかない。最も予約の取れない人気カウンセラーが教える、人間関係で一番大切なこと。                                                                                                                                                            |    |
| 11 | 堂下 哲郎           | 26 | 作戦司令部の意思決定                                    | <br>¥2,420   | 熾烈な実戦を通じて磨き上げた米軍の「統合ドクトリン」は、複雑な軍事作戦を立案するうえで不可欠なものとして世界の政軍関係者が認識している。「ウォーゲーム」「バトルリズム」「レッドチーム」など新たな手法を取り入れて進化する「意思決定のプロセス」は、軍事のみならずビジネス界においても活用できる。海上自衛隊の艦隊司令部や米中央軍司令部をはじめとする統合作戦の現場で数々の計画と実行を経験した著者が勝利のためのノウハウを詳解!                                                |    |
| 12 | 伊藤 俊幸           | 25 | 防衛シミュレーション! 自衛隊vs統一朝鮮                         | <br>¥1,650   | ギリギリのところでGSOMIA破棄は免れたものの、文在寅政権における韓国は、今後、ゆるやかに日米の自由民主主義側から中国側へ進み、北朝鮮との統合を目指すであろうと多くの識者が指摘しています。そこで、本書では「もし統一朝鮮(もしくは朝鮮連合)と日本が対峙することになったら」、自衛隊は日本をどう防衛するのか、新たな防衛線となる「新アチンライン」を巡るその攻防を、元海上自衛隊・海将の伊藤俊幸氏を監修に迎え、CGや図説で、詳細にシミュレートする一冊です。                                |    |
| 13 | 伊藤 俊幸           | 25 | リーダーシップは誰でも身に付けられる—海上自衛隊が実践する、米海軍式の最強リーダーシップ論 | <br>¥3,500   | 「論理的思考」を徹底的に学ばせ「自律」と「主体性」を叩き込むことで常に次世代のリーダーを輩出し続けてきた海上自衛隊。国防を担う組織の根幹を支える最強のリーダーシップ論。                                                                                                                                                                             |    |
| 14 | 二見 弘幸<br>(二見 龍) | 25 | 自衛隊最強の部隊へ -FTC対抗部隊編- : 無敗の最強部隊を殲滅せよ!          | <br>¥1,650   | 本書は、福岡県北九州市小倉に駐屯する第40普通科連隊が、無敗の富士トレーニングセンター対抗部隊との戦闘を描いた電子書籍『40連隊 VS FTC無敗部隊との闘い』を増補・再編集したものです。どうしたら強くなれるのか…、その答えを求めて訓練に明け暮れた陸上自衛隊・第一線部隊の記録です。                                                                                                                    |    |
| 15 | 二見 弘幸<br>(二見 龍) | 25 | 自衛隊は市街戦を戦えるか                                  | <br>¥792    | 陸上自衛隊といえば総合火力演習。榴弾(りゅうだん)砲に迫撃砲、戦車がハデに撃ちまくる—だが、それで日本を守るのか。サイバー戦に情報戦が加わった「新しい戦争」の時代、主戦場となるのは市街地ではないのか。「時代錯誤の突撃訓練」「独自の文化・銃剣道」「銃の取り扱い方も知らない隊員たち」……陸上自衛隊で作戦・教育訓練にたずさわりの、「最強の部隊」を追求した元幹部が初めて明かす組織の内情と未来への提言。                                                           |   |
| 16 | 磯部 晃一           | 24 | トモダチ作戦の最前線 福島原発事故に見る日米同盟連携の教訓                 | <br>¥3,080 | 大震災と原発事故という未曾有の大災害に自衛隊は約10万人を動員し、米軍も最大時1万6000人、艦艇約15隻、航空機140機が参加した。平常の災害出動とは全く異なる、いわば“有事”ともいうべき事態に日米の政府、自衛隊・米軍は如何に対応したかを証言で克明に綴る。                                                                                                                                |  |
| 17 | 岩田 清文           | 23 | 中国、日本侵攻のリアル(自衛隊元最高幹部の警告)                      | <br>¥1,650 | 「新しい戦争」の世界的変化についていけない日本陸元トップが詳細にシミュレーション、初めて明かされる自衛隊の弱点<br>中国が狙い定める、わが国防衛体制の組織的・制度的欠陥を具体的に指摘<br>本邦初、ハイブリッド戦争の完全解説書!                                                                                                                                              |  |
| 18 | 佐渡 龍己           | 22 | 東京オリンピックとテロリズム                                | <br>¥748   | 東京オリンピックはテロリストの攻撃目標となるか。この問いに対して著者は読者を戦慄させる結論を導き出している。それは予想を超えた内容であるが、思考過程は筋道が通っており、十分に納得できる主張である。その主張の基礎をテロリズム事件が頻発した時期のスリランカとイスラエルでの生活経験さらにイラクにおけるテロリズム戦争での防御体験に置いているからであろう。                                                                                   |  |
| 19 | 河野 克俊           | 21 | 統合幕僚長 我がリーダーの心得                               | <br>¥1,650 | PKO、東日本大震災、北朝鮮ミサイル、中国艦船尖閣侵入……<br>「日本の危機」に自衛隊トップはその時、どう決断したのか。<br>自衛隊46年、統合幕僚長4年6ヶ月の自衛官人生、今そのすべてを語る。<br>危機管理! 顔の見える自衛隊! 9条改憲問題! そしてかくあるべきリーダー像とは退官後、テレビなどの討論番組にもひっぱりだこの著者が初めて綴った自叙伝的防衛論。                                                                          |  |
| 20 | 吉田 明生           | 21 | まあいい日本 リーダーシップの時代(人を動かす)                      | <br>¥1,650 | 元陸上自衛官の著者が、豊富な経験をもとに陸上自衛隊のリーダーシップに対する考え方やノウハウを、米陸軍の考え方も取り入れて紹介する。軍隊にまつわる興味深い挿話も掲載。                                                                                                                                                                               |  |
| 21 | 池田 整治           | 21 | マインドコントロール1 日本人を騙し続ける支配者の真実                   | <br>¥748   | 日本人よ、戦後70年間続く洗脳から目覚めよ。GHQによる自虐史観の刷り込み、宗教を隠れ蓑とした謀略、化学物質で汚染された食卓、ウイルス兵器で脅される世界…。自衛隊元幹部が、「人類支配者」たちの恐るべき計画を告発する。<br>序章 オウム事件から、世の中の「真相」を求めて/第1章 日常生活に忍び寄る食品添加物の実態/第2章 第五の民主権力「インターネット」で流れを読み解け/第3章 「ヤマトごころ」を歴史から抹消せよ/第4章 現代日本へのマインドコントロール戦略/終章 人類文明の危機とアインシュタインの「予言」 |  |

|    |       |    |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                       |
|----|-------|----|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 22 | 池田整治  | 21 | マインドコントロール2<br>密かに進行する日本人家畜化計画           | <br>このままでは、日本は「驚愕の末路」を迎える!!暗躍する白いエゴ資本主義者たち、牙を剥く赤いエゴ資本主義国家、支配層が有色人種の抹殺を計画している…!?騙され続けている日本人へ、自衛隊元幹部が警告する。<br>第1章 日本人を搾取する三つのエゴ資本主義／第2章 日常生活は情報と化学物質で汚染される<br>第3章 地震国家・日本に世界一の原発が存在する理由／第4章 教育洗脳と日本人劣化プロジェクト／第5章 牙を剥く赤いエゴ資本主義国家／第6章 暗躍する白いエゴ資本主義者と人類の次元進化<br>¥748 | このままでは、日本は「驚愕の末路」を迎える!!暗躍する白いエゴ資本主義者たち、牙を剥く赤いエゴ資本主義国家、支配層が有色人種の抹殺を計画している…!?騙され続けている日本人へ、自衛隊元幹部が警告する。<br>第1章 日本人を搾取する三つのエゴ資本主義／第2章 日常生活は情報と化学物質で汚染される<br>第3章 地震国家・日本に世界一の原発が存在する理由／第4章 教育洗脳と日本人劣化プロジェクト／第5章 牙を剥く赤いエゴ資本主義国家／第6章 暗躍する白いエゴ資本主義者と人類の次元進化                |    |
| 23 | 高嶋博視  | 19 | ソロモンに散った聯合艦隊参謀一伝説の海軍軍人樋端久利雄              | <br>¥2,420                                                                                                                                                                                                                                                      | “昭和の秋山真之”“帝国海軍の至宝”と言われた伝説の海軍士官の生涯を描いた評伝。讃岐(香川県)に生まれ、海兵、海大とともに首席で卒業した樋端久利雄(といばなくりお)は山本五十六長官が直接指揮した「い」号作戦では中心的役割を担った。昭和18年4月18日、山本長官の前線視察に同行、ソロモン諸島ブーゲンビル島上空で米軍機に撃墜され戦死。これまでほとんど知られていなかった樋端久利雄の事蹟をまとめ上げた鎮魂の書。                                                        |    |
| 24 | 越野 修三 | 17 | 有事のブロに学ぶ自衛隊式自治体の危機管理術<br>～非常時に動ける組織をつくる～ | <br>¥2,090                                                                                                                                                                                                                                                      | 岩手大学 地域防災研究センター客員教授(防災危機管理アドバイザー)<br>危機(災害)に際して、いかにしたら適切な対応ができるかという課題に対して、これまで経験した陸上自衛隊での阪神淡路大震災、岩手県庁での東日本大震災という2つの震災からの教訓と、危機対応に関する自衛隊のノウハウやスキルを自治体等どのように活用したら適切な危機(災害)対応ができるのかという観点で著したものです。<br>自治体だけではなく、危機(災害)対応に係わるすべての人・組織が、防災対策等を検討する際にお役に立てていただければ幸甚に存じます。 | 近日出版予定!                                                                               |
| 25 | 折木良一  | 16 | 自衛隊元最高幹部が教える経営学では学べない戦略の本質               | <br>¥1,540                                                                                                                                                                                                                                                      | 経営学をはじめ、世に溢れる戦略論。しかし、そもそも「戦略」とは何なのか?『シン・ゴジラ』自衛隊トップのモデルとされる伝説の自衛官が、自衛隊の戦略立案はもちろん、「きれいな戦略」が通じない人や組織の動かし方から、日本人のもっている「集散的無意識」の本質、経営学者の多くも気づいていない「安保と経済」のつながりまでを一気に伝授。                                                                                                 |    |
| 26 | 折木良一  | 16 | 日本人のための軍事学                               | <br>¥924                                                                                                                                                                                                                                                       | 橋爪 大三郎 (著), 折木 良一 (著)<br>武力とは?軍とは?安全保障の基礎を徹底的に考え抜くことで、目前の国際情勢までもが一気に読み解ける。自衛隊元最高幹部の折木氏と橋爪氏の対話のなかで浮かび上がる、日本人がどうしても知らなければいけない新しい「教養」。                                                                                                                                |    |
| 27 | 田中恒夫  | 16 | 戦場の名言: 指揮官たちの決断                          | <br>¥990                                                                                                                                                                                                                                                      | 国家存亡の危機に直面し、生死の瀬戸際に立ったとき、指揮官たちはいかなる言葉を発して、将兵の士気を高め、勇気を引き出し、任務達成に邁進させたのか。ネルソン、東郷平八郎、山本五十六から、ロンメル、シュワルツコフまで近代戦を指揮した軍人、91人の言葉を収載。名言が生まれた状況や指揮官の戦争哲学や戦略とともに解説した名言集。                                                                                                    |  |
| 28 | 田母神俊雄 | 15 | 日本の敵                                     | <br>¥1,540                                                                                                                                                                                                                                                    | 愛国心を「金儲け」の道具にする奴は誰だ。北朝鮮のミサイルが落ちると「脅して」喜ぶ奴は誰だ。中国が尖閣諸島へ侵入しても「平和」だと笑う奴は誰だ。改革の名のもとに国民を「貧困化」させ「格差」を生んだ奴は誰だ。憲法9条で「戦争」に巻き込まれないと平気でウソをつく奴は誰だ。歴史を改ざんして日本を不当に貶める奴は誰だ。我が国の自主独立を阻む「真の敵」と残りの人生を賭けて戦うことの宣言。                                                                      |  |
| 29 | 田母神俊雄 | 15 | 愛国者                                      | <br>¥1,540                                                                                                                                                                                                                                                    | 反日国家中国、韓国、北朝鮮は日本の敵ではない!今こそ日本を貶める元凶、反日左翼を徹底的に駆逐して日本復活を!愛国者田母神俊雄、渾身の書。                                                                                                                                                                                               |  |
| 30 | 木元寛明  | 12 | 機動の理論<br>勝ち目をとことん追求する柔軟な思考               | <br>¥1,100                                                                                                                                                                                                                                                    | 第1次大戦では、塹壕戦が長期に及びこれを打開するために生まれたのが戦車で、その運用方法が「機動戦理論」です。機動戦理論は英陸軍退役将校J.F.C.フラーが生み出し、第2次大戦でドイツ軍、ソ連軍が確立し、大戦後にイスラエル軍、米陸軍、米海兵隊が発展させ、現代に受け継がれています。本書では、豊富な図版やイラスト、写真を用いて機動戦理論の本質を解説。                                                                                      |  |
| 31 | 木元寛明  | 12 | 気象と戦術 天候は勝敗を左右し、歴史を変える                   | <br>¥1,100                                                                                                                                                                                                                                                    | 陸海空の作戦において「気象」を考えずに行動することはできません。天候は常に晴天というわけではなく、視程が短くなる曇天や夜間、濃霧、砂ぼこり、視程だけでなく兵士の体力を奪う雨天、部隊の行動を極端に阻害する積雪・泥濘など、時間や場所、季節によってさまざまです。あらゆる環境に影響されます。戦場において「気象の正確な知識なしに勝利を収めることは不可能」といっていいでしょう。本書ではさまざまな戦史を見ながら、気象と戦術の関係を解説します。                                           |  |
| 32 | 黒川雄三  | 11 | 誰でもわかる防衛論<br>日本が生き残るための国家戦略の提言           | <br>¥1,100                                                                                                                                                                                                                                                    | 戦争の形態が変わり、さまざまな新しい脅威が生きている今、「何も知らない、何もわからない」では生き残れないいま起きていることを正しく知り、どうすれば日本が生き残れるかを、わかりやすく具体的に提言する。                                                                                                                                                                |  |
| 33 | 黒川雄三  | 11 | 国家戦略で読み解く日本近現代史<br>―令和の時代の日本人への教訓―       | <br>¥2,530                                                                                                                                                                                                                                                    | 「国家戦略」を切り口に、幕末・明治から平成までの日本の歩みを詳述した総合通史。それぞれの時代を「外交」「安全保障」「国防」「経済・通商」の分野ごとに論じ、終章では、令和以降の日本の国家戦略のあり方を提言。                                                                                                                                                             |  |

|    |       |   |                                     |                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                       |
|----|-------|---|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 34 | 林吉永   | 9 | 自衛官の使命と苦悩                           | <br>¥1,870   | 「加憲」の当事者の発言が不可欠だ。元陸将2人と元空将補が誇りと苦悩に満ちた人生を振り返り、改憲に対する揺れる心情を吐露する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |    |
| 35 | 森本敏   | 9 | 国家の危機管理                             | <br>¥3,520   | 森本敏 (著) ,浜谷英博(著)<br>近年、大災害に見舞われ、中国の海洋進出や北朝鮮のミサイル発射を受け、更にはテロの標的ともなり得るようになった日本。しかし危機が増える中でも、“人災”といわれるように問題が起きた後の初動のミスが指摘されることは変わらずに多々あります。いったい日本の危機管理・安全保障はどうなっているのでしょうか。<br>◎阪神淡路・新潟中越・東日本・熊本といった大地震災害／◎アルジェリア邦人テロ被害事件、ISILテロなど海外でのテロ事件における邦人保護／◎原発問題・北朝鮮の核弾道ミサイル問題・対応官庁がグレーゾーンとなっているもの／◎緊急事態における現行憲法の問題点等々、今の日本の危機管理・安全保障にまつわるすべてを網羅し、過去からどのような教訓を得て、現在どのような課題を抱えているのかを浮き彫りにします。 |    |
| 36 | 中村好寿  | 9 | 「作戦」とは何か 戦略・戦術を活かす技術                | <br>¥2,530   | 「作戦」とは戦略とも戦術とも異なる、両者をつなぐ概念であり現在、軍事専門家に最も重視される位置にある。この言葉を最初に現代戦に持ち込んだのはヘルムート・モルトケで、用語として使用されるようになったのは、比較的新しい。「作戦」の起源からその歴史をたどったうえで、現在議論されている主要な「作戦」の三事例を取り上げ、意義と特性を考察する。                                                                                                                                                                                                          |    |
| 37 | 中村好寿  | 9 | 自衛隊幹部学校戦略教官が教える〈米軍式〉最強の意思決定         | <br>¥1,731   | 自衛隊幹部学校戦略教官が、アメリカ軍のドクトリンを一变させ欧米企業が競って導入しようとしているOODAループなどの米軍式意思決定法を徹底解説した1冊。機動戦が重要になってきた理由から、新旧の意思決定法のメリット・デメリット、軍隊でこれら意思決定法が具体的にどのように活用されているかを詳細に紹介していきます。                                                                                                                                                                                                                       |    |
| 38 | 佐藤守   | 7 | 宇宙戦争を告げるUFO 知的生命体が地球人に発した警告         | <br>¥1,650   | 「エイリアン(地球外生命体)が地球を滅ぼす」ホーキング博士は、こう警告する。いっぽうNASAは、2016年夏、探査機「キュリオシティ」が、火星上空を浮遊するUFOを撮影していたことを明らかにした。自衛隊パイロットたちの証言と、ETコンタクターに導かれ、筆者はついに山梨県山中で、UFOに遭遇した!!飛行時間3800時間の元自衛隊空将が放つ、超弩級のノンフィクション!                                                                                                                                                                                          |    |
| 39 | 佐藤守   | 6 | ある樺太廳電信官の回想                         | <br>¥2,200  | あの日、夢を抱いて樺太へ渡った。知られざる、樺太開拓移民秘話。1917年、一人の青年が郵便局長として樺太へ降り立った。日本統治時代の樺太を綴る貴重な記録                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
| 40 | 茅原郁生  | 6 | 中国人民解放軍「習近平軍事改革」の実像と限界              | <br>¥1,078 | ついに国防費が1兆元(約13兆円)を超えた中国。世界覇権さえ視野に入れる人民解放軍の歴史、そして軍事改革の現状と限界を緻密に分析。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |
| 41 | 杉之尾直生 | 5 | 「失敗の本質」と戦略思想 孫子・クラウゼヴィッツを読み解く日本軍の敗因 | <br>¥880   | 西田陽一(著),杉之尾直生(著)<br>『失敗の本質』は、日本陸海軍の戦略・作戦の失態を鋭く分析した組織論研究の古典的存在とされている。だが、今も日本ではその教訓が十分に学ばれているとは言い難い。戦略思考の源流は、古代の『孫子』に始まり、19世紀のクラウゼヴィッツの『戦争論』で深化され、現代でも米国・中国の各軍大学校において真剣に学習されている。これら戦略古典でもって『失敗の本質』に採り上げられた例も含め日本陸海軍の戦いを再検討し、現代日本の賢慮なる戦略思考の活性化を図りたい。                                                                                                                                |  |
| 42 | 杉之尾直生 | 5 | [現代語訳]孫子                            | <br>¥990   | 『孫子』13篇は、中国最古のすぐれた兵書。そこに記された戦略・戦術の論議における洞察は、ひろく人生全般の問題に適用できます。本書は、世界最古の戦略書『孫子』の原典を軍事戦略の研究者が訳した『【現代語訳】孫子』(2014年刊)の文庫化。文庫化に当たっては、1現代語訳を主役とし、2読み下し文、用語解説は活字を小さくして配置。名言集としても活用できるようにします。                                                                                                                                                                                             |  |
| 43 | 茅原郁生  | 4 | 習近平が変えた中国                           | <br>¥1,760 | アメリカをも凌駕する中国の覇権主義は、どこを目指しているのか。習近平政権の分析を重ねてきた研究者らが、東アジアの未来を読む。「ビジュアル」「視点・論点」「小事典」の三部構成で、ガッツリわかる!参照項目で理解深まる!                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |
| 44 | 富澤暉   | 4 | 米朝首脳会談後の世界                          | <br>¥1,100 | 核問題の専門家、防衛省・自衛隊の元トップ、北朝鮮経済の研究者が米朝首脳会談の結果を踏まえ、核・ミサイル問題の行方を論じあう。<br>I 米朝首脳会談の結果を要らせる道はどこにあるのか／II 北朝鮮の核問題を解決する道はどこにあるか／III 防衛の現場から考える北朝鮮の核・ミサイル問題／IV 北朝鮮の経済をどう捉えるか                                                                                                                                                                                                                  |  |
| 45 | 富澤暉   | 4 | 軍事のリアル                              | <br>¥836   | 現代の軍隊は「戦争の道具」ではなく、世界の繁栄と平和を守るための基盤である。一国平和主義によって世界の現実を目を閉ざした日本は、その「常識」を共有できない。今こそ自衛隊を正しく「軍隊」と位置づけ、過剰な期待も過剰なアレルギーも排し、何ができるのかを冷静に見極めよう。陸上自衛隊トップの幕僚長を務めた著者が、自衛隊の現場の視点から語った超リアルな軍事論。                                                                                                                                                                                                 |  |

|                                                                                                                            |      |   |                                  |                                                                                             |                                                                                                                                                    |                                                                                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 46                                                                                                                         | 是本信義 | 3 | 海軍善玉論の嘘<br>誰も言わなかった日本海軍の失敗       | <br>¥836   | 日中戦争の和平を壊したのは米内光政——海軍は陸軍をだまして太平洋へ引きずり込んだ。世に広く浸透した「海軍善玉論」の裏側に秘められた、数々の誤謬と錯誤を直視して戦史の定説に挑んだ異色作。                                                       |  |
| 47                                                                                                                         | 平間洋一 | 1 | 軍艦「烏海」航海記<br>(平間兵曹長の日記 昭和16~17年) | <br>¥1,925 | 戦後60年以上も床の間の天井裏に密かに隠され、偶然発見された一冊の日記——。日記を記したのは、重巡洋艦「烏海」の掌航海長だった海軍兵曹長 平間源之助。本書の編者である防大一期生の歴史学者・平間洋一の父であり、四等水兵として海軍に入隊、大尉として海軍の終焉に立ち会った叩き上げの海軍軍人である。 |  |
| この表にリストアップされている書籍は、<br>①防衛大学校同窓会人材バンクに登録されている方の著作<br>②人材バンクに登録されていない同窓生の著作で同窓会事務局が把握できたもの<br>の中から直近3年間に発売されたものを基準に選んだものです。 |      |   |                                  |                                                                                             |                                                                                                                                                    |                                                                                     |